



今月のイベント

おしやつち event

聞いて！聞かせて！  
 おおつちの自然

第1回 おおつちの海と川について話そう

4月20日(土) 10:00～  
 ※1時間～2時間程度

「おおつち海の勉強室」のおおつち先生が、大槌の海と川に生息しているさまざまな生きものについて、大槌高校の生徒の皆さんと2年間にわたり取り組んだ大槌川、小槌川の調査で分かったことなども交えながらお話しします。

大土先生が知りたいことや、皆さんからの「こんなところに、こんな生きものがいたよ…」といった話や疑問を話題にしながら、大槌の自然について考える時間をご用意します。写真などの持ち込みも大歓迎です。途中参加、途中退席もできます。どうぞ、お気軽にご参加ください！

【場所】 エントランス（1階） 【参加費】 無料



おしやつち event

おしやつちラジオ体操

毎朝9時開催！ ※休館日（毎週火曜日）を除く毎日、多くの皆さんが参加しています。



どなたでも参加できます。  
 ぜひ、お気軽にご参加ください！！

おしやつちの施設予約

おしやつちのご予約はネットからが便利！  
 ご自身で、予約、変更、キャンセルができます。  
 ※ご予約はパソコン画面の方が見やすいです。  
 ※初回だけ簡単なアカウント登録が必要です。  
<https://www.oshacchi.com/>



おしやつちのイロイロ日々更新中 フォローをお願いします！



大槌町文化交流センター Tel.0193-27-5181

図書館 event

こどもの読書週間関連企画展

4月3日(水)～5月6日(月)

こどもの読書週間(4月23日～5月12日)に関連して、企画展『No.1は?』を開催します。

「第16回MOE絵本屋さん大賞2023」受賞作品と、「第28回日本絵本賞」受賞作品や当館での絵本貸出ランキングTOP30を展示しています。あなたのNo.1の絵本はどれでしょう。

図書館 event

読み聞かせ会

4月8日(月) 11:00～

【場所】 3階ミーティングルーム  
 【協力】 大槌町図書ボランティア このゆびとまれ

図書館 event

コドモクラフト

ちぎり絵あそび！～ビリビリ・チョコキチョコキ～

4月27日(土)、4月28日(日)  
 10:00～12:00

破いて、切って、貼って、自分の好きな形に好きな色の折り紙を貼って、オリジナルの作品と一緒に作りましょう！

【場所】 3階ミーティングルーム

休館日  
 のご案内

毎週火曜日、第3木曜日(4/18)  
 【祝日開館】5月3日(金)は祝日のため18時閉館です。

図書館 Tel.0193-42-7226

2月16日

大高生が未来に繋ぎ続ける  
 復興研究会が「ふるさとづくり大賞」を受賞

東日本大震災津波後、大槌高校の生徒たち有志がボランティア活動に参加し、2013年にその活動を生徒自身が名付けた「復興研究会」。復興過程の記録や伝承、防災につながる活動や地域のつながりとなる活動を通じ、大槌町の活性化などに広く貢献したことが評価され、2月16日(金)に令和5年度ふるさとづくり大賞を受賞しました。町内180箇所の変わりゆく街並みを記録する「定点観測」、県内外の中高生と交流し、震災津波の教訓と復興の取組みを伝える「他校交流」、避難所で行った子どもたちとの触れあいを継続する「キッズステーション」など評価を受けた活動は、生徒同士で繋ぎながら現在も続けられています。



2月17日

三陸の自然を学び環境を考える  
 沿岸圏域環境学習交流フォーラム

2月17日(土)、おしやつちで三陸ジオパークなどの沿岸地域の自然環境を活かした体験学習を考える交流フォーラムが行われ、特定非営利活動法人三陸ボランティアダイバーズ代表理事の佐藤寛志さんによる講演や、環境学習体験会を実施した6団体による活動成果が報告されました。アメリカのダイビング雑誌「scuba diving magazine」が行う「Sea Hero」に日本人初で選ばれた佐藤さん。講演の中で「自分の好きな海を楽しみながら、地域の課題や環境問題の解決につながる活動を続けていきたい」と熱い思いを語りました。



2月25日

恩返しとお互い様の気持ちを込めて  
 大槌町郷土芸能チャリティ公演

東日本大震災津波で被災した大槌町は、これまで全国から数多くの支援をいただいて今があります。大槌町郷土芸能保存団体連合会では、能登半島地震で被災した人たちに少しでも恩返しとなることを願い、2月25日(日)におしやつちで郷土芸能のチャリティ公演を開催しました。会場が満席となるほどの観客が訪れ、町内6つの郷土芸能団体が演舞を披露しました。この公演の入場料と募金箱に寄せられたお金は、能登半島地震で被災された人たちに寄附されました。



3月9日

あなたと大切な人の日常を守るため  
 13人が震災と防災を学ぶ

町民の皆さんの震災伝承への意識づくりを図るため、3月9日(土)、おしやつち多目的ホールで「震災伝承意識啓発講座」を行いました。大槌町長の講話や、町で作成したテキストによる講座を実施。参加した高校生を含む13人は、震災と防災などを学びました。講座後、参加者全員には「受講証明書」が贈られました。また、2階小会議室では、3月9日(土)～3月11日(月)の3日間、東日本大震災津波で流出した「思い出の写真」の返還会を開催し、17枚の写真が所有者またはその親族のもとに戻りました。

